

安全運転の8カ条

- ①スピードの出しすぎは絶対絶命です
ヤングの事故＝スピードの出しすぎ
- ②カーブの手前ではスピードを落としましょう
『慣性力・遠心力を忘れるな!』
- ③無理な追い越しはあの世行きです
即死率高い“正面衝突”
- ④一時停止を厳守しましょう
横断歩行者の安全を守る
- ⑤交差点では必ず安全を確かめましょう
黄色信号は“ストップサイン”
- ⑥シートベルトは命綱です
いつでも、どこでもシートベルト
- ⑦脱ヘルメットは違反です
ミニバイクもヘルメットを忘れずに
- ⑧飲酒運転は絶対にしないようにしましょう
飲んだら乗るな、乗るなら飲むな



パトカーを先頭に行われた交通安全パレード（秋の全国交通安全運動期間中に実施）

年末・年始の交通事故防止運動

飲酒・無謀運転の追放に重点

今年の年末・年始の交通事故防止運動は、12月10日から平成6年1月3日までの25日間行われます。

この運動は、年末・年始の交通量の増加に伴う道路の混雑に加え、飲酒の機会が多くなるなどにより交通事故の多発が予測されることから、町民のみなさんに交通安全思想を普及し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的

大惨事を招く踏切事故

踏切事故は大惨事を招きます。また、記憶にあると思いますが、昨年に成田線の踏切で積載重量をオーバーした大型ダンプカーが、十分にブレーキをかけられないまま踏切遮断桿を突破して進入し91名の死傷者を出した事故や、内房線の踏切内で立ち往生したため、

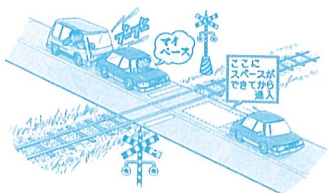
としています。

また、今回の運動は、飲酒・無謀運転の追放、シートベルトの着用の徹底、違法駐車者の交通事故防止に重点がおかれ展開されます。

このため、町及び警察署並びに交通安全協会は、交通安全対策を推進するため街頭指導と広報活動の強化指導取締り、交通安全施設の整備点検などを行ってまいります。

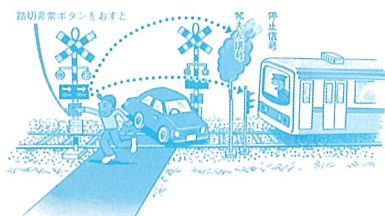
電車と衝突し35本の電車を運休させる脱線事故などが発生しました。いずれも安全運転を怠ったことが、大勢の人に迷惑をかけた結果になったものです。町にも4カ所の踏切がありますので、万が一に備えて次のことだけは覚えておきたいものです。

踏切に入る前には一旦停止



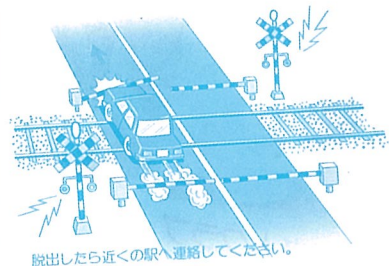
- 向い側に自分の車のスペースができてから進入してください。

踏切で動けなくなった時はまず電車を止める



- 踏切非常ボタンを押してください。
- 非常ボタンのない踏切では発えん筒や赤色旗(灯)などを円形に振って列車を止めてください。

踏切で車が閉じ込められた時



- あわてずに車をゆっくり前進させ、そのまま進んでください。
- しや断棒は車と接触し前上方へ跳ね上がったたり、折れたりして車は脱出できます。